

# ホウレンソウ

## 産地の特徴

高山市では、高冷地の冷涼な気象条件を利用し、春から秋にかけて飛騨ほうれんそうの栽培が盛んである。

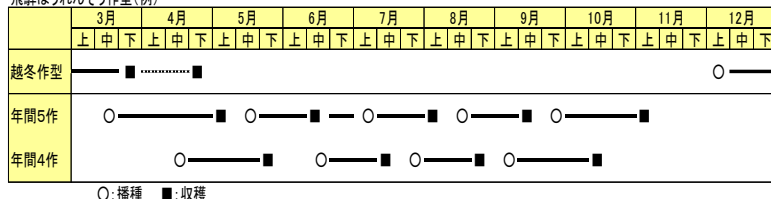
飛騨ほうれんそうの栽培は昭和40年頃から本格的に始まり、その後当地で開発された雨除け施設栽培（ビニールハウス）による技術の普及と水田転作によりその栽培面積が拡大しており、令和3年においては延べ面積で約921㌥の栽培されている。

夏場は生育期間が1ヶ月ほどと短く年間5連作も可能であり、4月から11月まで連続して京阪神市場を中心に中京市場、京浜市場へ出荷されている。

平成15年度からは化学肥料と化学合成農薬をそれぞれ従来より30%以上削減した栽培体系・ぎふクリーン農業 (<https://www.gifu-cal.or.jp>) を取り入れている。

## 飛騨ほうれんそうの年間の栽培体系

飛騨ほうれんそう作型(例)



## 年産別ホウレンソウの生産推移

